



製品設置マニュアル

ご不明な点がございましたら下記よりお問い合わせください。

<http://www.mailsmart.net/contact/>

システム設置手順

【システム要件】	導入するにあたって	4
【STEP 0】	はじめに	5
【STEP 1】	圧縮ファイルの解凍	6
【STEP 2】	MySQL接続情報を記載	7
【STEP 3】	サーバーにアップロード	8
【STEP 4】	パーミッションの変更	9
【STEP 5】	ブラウザにてインストール	10
【STEP 6】	ページにアクセス	11
【STEP 7】	ディレクトリの削除	12

CRON設定方法

【STEP 8】	システム設置パス設定	14,15
【STEP 9】	実行パスワード設定	16
【STEP 10】	CRON設定	17,18



システム設置手順

システムの設置手順について説明しています。

PHP

PHP5.2～5.5を推奨。

※5.2の場合、php.iniの設定にご注意ください。

MySQL

MySQL5.0以上を推奨。

※基本的に最新バージョンを推奨いたします。

CRON

phpスクリプトが実行できるcron設定が可能な環境。（シェル実行も可）

その他

OSはLinux系、WEBサーバーはApache（nginxも可）を推奨いたします。

※動作確認済みサーバーは[こちら](#)をご参考ください。

【STEP 0】はじめに

lea works

株式会社リーフワークス 様

購入済みパッケージ一覧

ホーム > 購入済みパッケージ一覧

検索

アップデート 最新バージョン 旧バージョン

フリーワード

検索

1件中 1-1件表示

1

▼ アップデート | 購入日時

メールスマート (Ver 1.0.0)

シリアル アップデート 最新バージョン

ダウンロード回数 0回 購入日時

【ダウンロード版】

ご購入の後、ご注文時のメールアドレス宛に専用のダウンロードアカウントをお送りします。

そちらの発行アカウントで、左のダウンロードシステムにログインいただき、システム一式をダウンロードしてください。

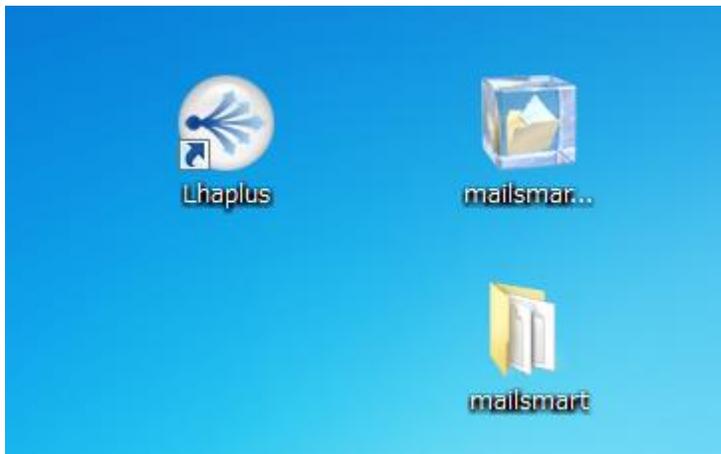
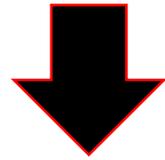
※URLはご購入後のご案内となります。

【製品設置に必要なツール】

「解凍ソフト」と「FTPソフト」をご用意ください。

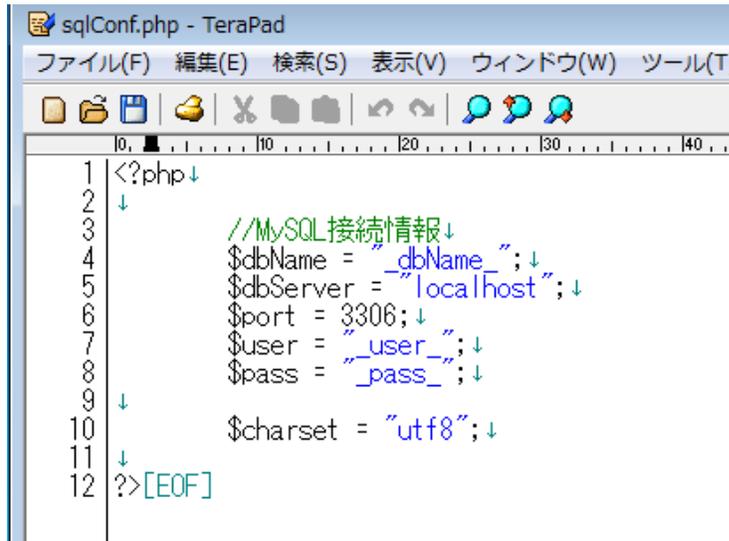
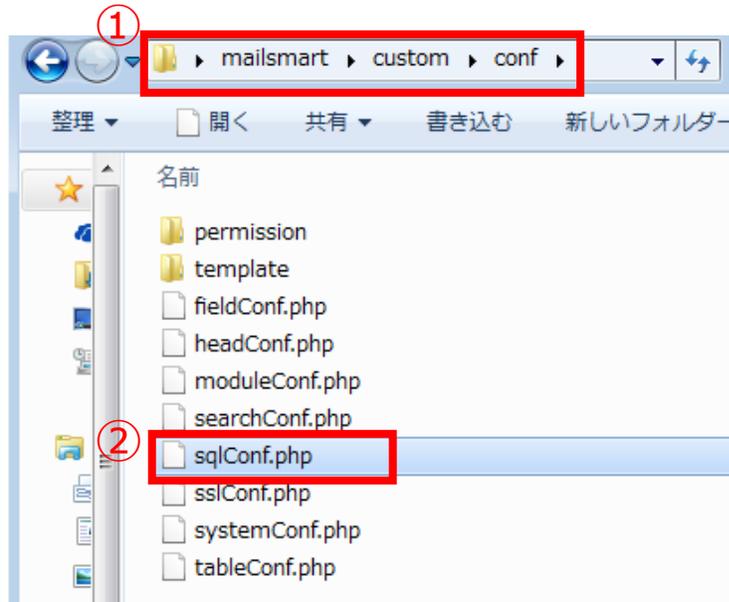
※本マニュアルは、「Windows」環境、
FTPソフトは「FFFTP」を使用した場合の例となっております。

【STEP 1】 圧縮ファイルの解凍



ダウンロードした圧縮ファイル（zip形式）をフリーソフト等で解凍してください。

【STEP 2】MySQL接続情報を記載



解凍いただいたファイルの、

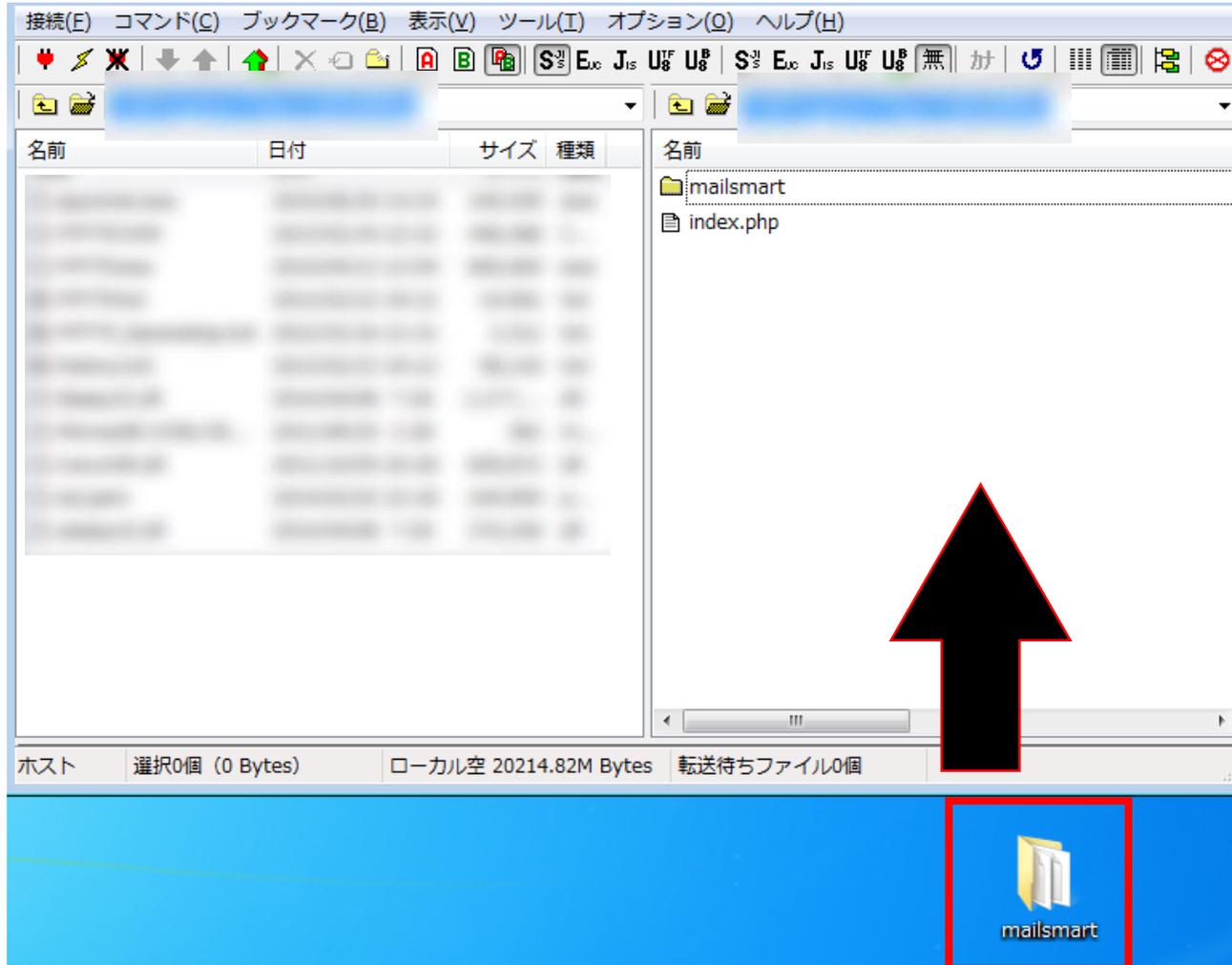
- ① 「custom」 ⇒ 「conf」
- ② 「sqlConf.php」を開いてください。

```
$dbName = "_dbName_";
$dbServer = "localhost";
$user = "_user_";
$pass = "_pass_";
```

4項目の赤文字部分に、
MySQL接続情報を記載してください。

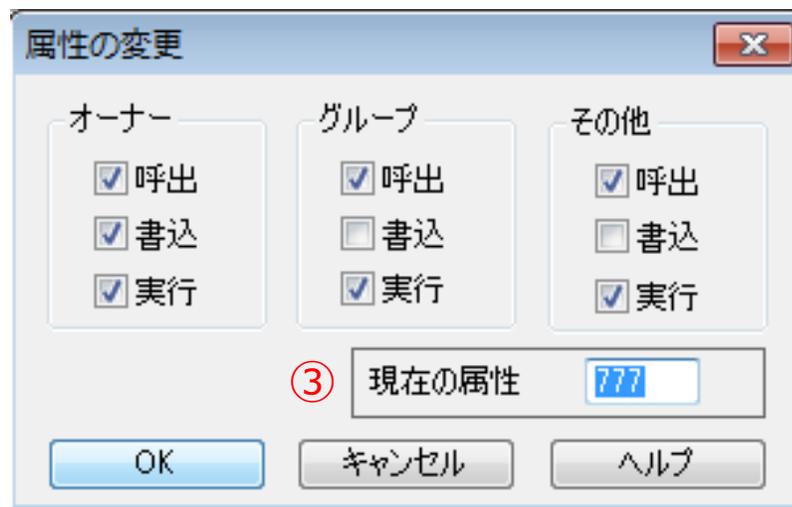
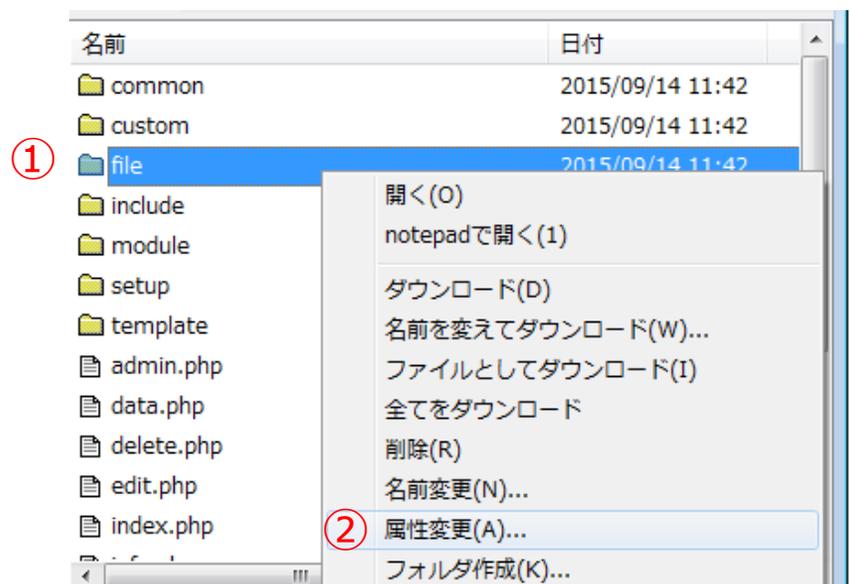
MySQL接続情報の確認方法については、
[こちら](#)をご参照ください。

【STEP 3】サーバーにアップロード



ファイル一式をFTPサーバーにアップロードしてください。

【STEP 4】パーミッションの変更



- ① アップロードしたファイル内の「file」ディレクトリを右クリック。
- ② 「属性変更」を選択してください。
- ③ 「現在の属性」を「777」に変更してください。

【STEP 5】ブラウザにてインストール

①	▼INSTALL
②	ALL INSTALL START ONE TABLE INSTALL
	▼DROP TABLE
	DROP TABLE
	▼OPTIMIZE TABLE
	ALL OPTIMIZE TABLE ONE OPTIMIZE TABLE
	▼REPAIR TABLE

	LOG (setup/sql/data/mail_template.sql)
	LOG (setup/sql/data/contents_html.sql)
	LOG (setup/sql/data/contents.sql)
	LOG (setup/sql/data/admin.sql)
③	SQL INSTALL COMPLETE!
	TOP

- ① ブラウザにて、
「<http://設置先/setup/install.php>」
にアクセスしてください。
- ② 「**ALL INSTALL START**」をクリックしてください。
※その他のリンクはクリックしないでください。
- ③ ページ最下部に、
「**SQL INSTALL COMPLETE!**」というメッセージ
が表示されるとインストール完了となります。

【STEP 6】 ページへアクセス



① ブラウザにて、
「<http://設置先/admin.php>」
へアクセスしてください。

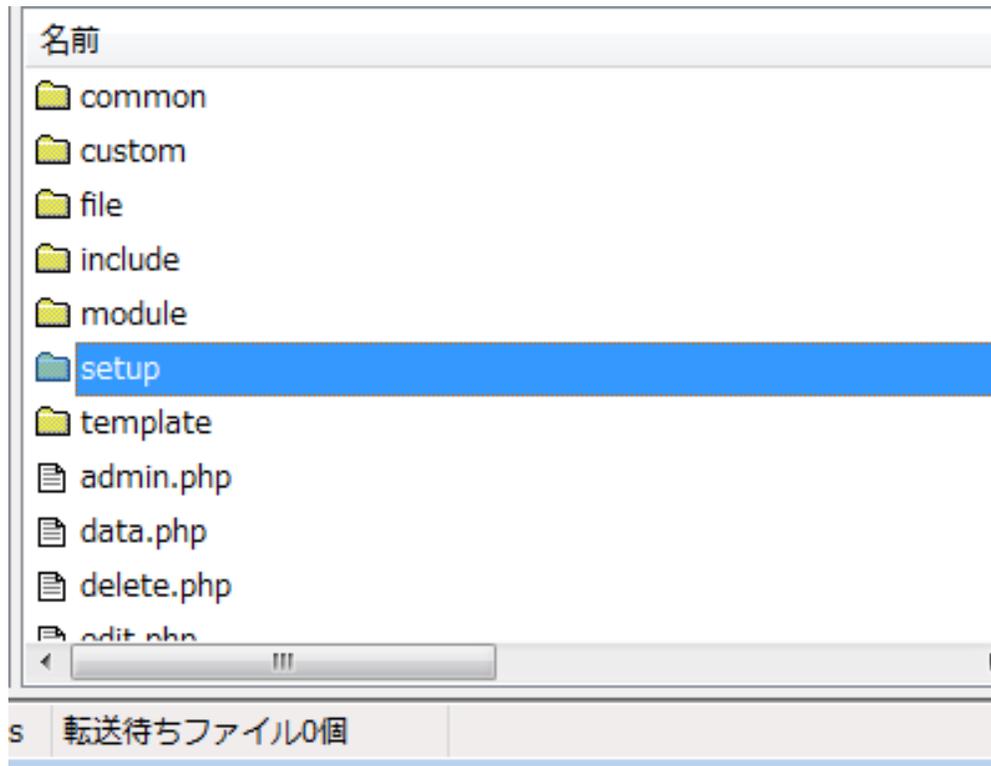
② 初期ID/PASSでログインしてください。
※初期IDは「admin」、PASSは「admin」です。



③ 「システム設定」

④ 「メールアドレス」 および
「システム設置先URL」を設定してください。

【STEP 7】ディレクトリの削除



「**setup**」ディレクトリー式の削除で、
製品の設置が完了となります。

続いて、

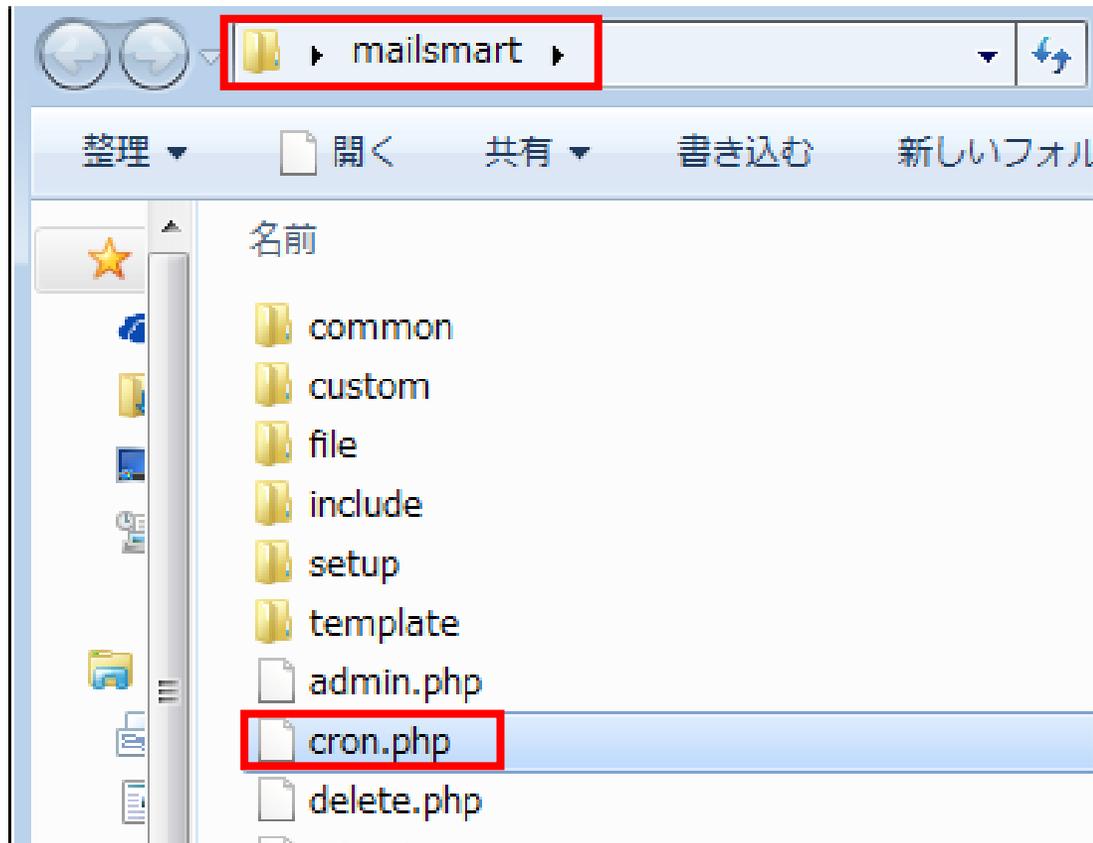
「**CRON設定方法**」の説明をします。



CRON設定方法

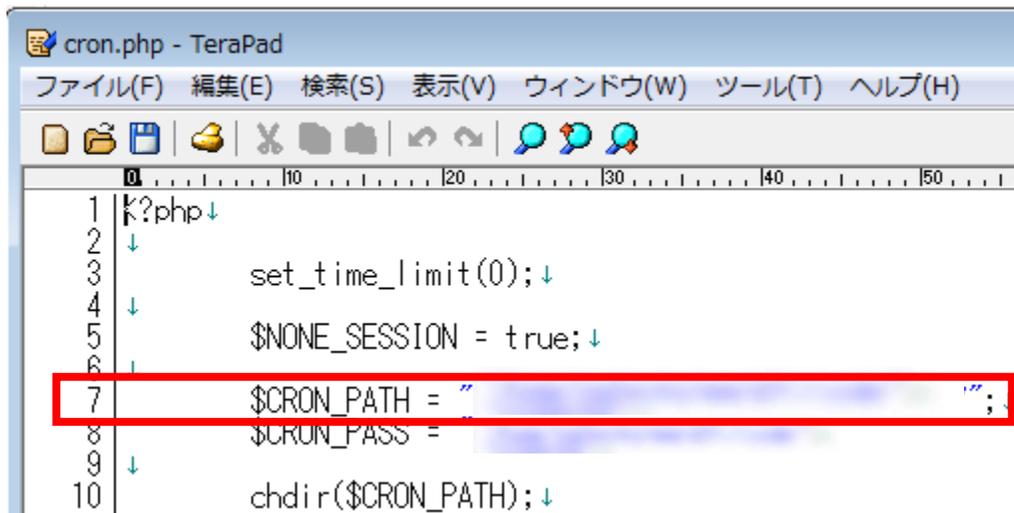
CRON設定方法について説明しています。

【STEP 8-1】システム設置パス設定



ダウンロードファイルの
「**cron.php**」を開いてください。

【STEP 8-2】システム設置パス設定

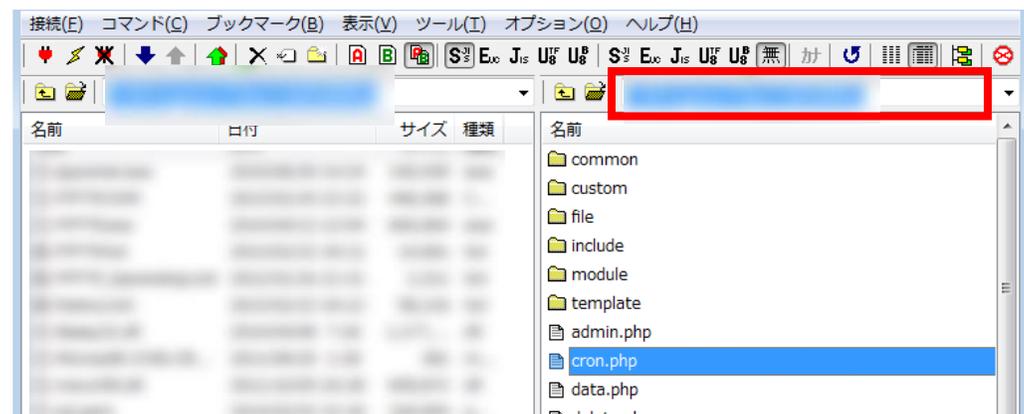


```
1 k?php↓
2 ↓
3     set_time_limit(0);↓
4 ↓
5     $NONE_SESSION = true;↓
6 ↓
7     $CRON_PATH = " ";
8     $CRON_PASS = " ";
9 ↓
10    chdir($CRON_PATH);↓
```

7行目「**\$CRON_PATH**」の値を
サーバー上のシステム設置パス (**絶対パス**)に
書き換えてください。

※以降、「**システム設置パス**」とします。

<「さくらのレンタルサーバ」の場合>



※「さくらのレンタルサーバ」の場合は左画像の赤枠の値となります。

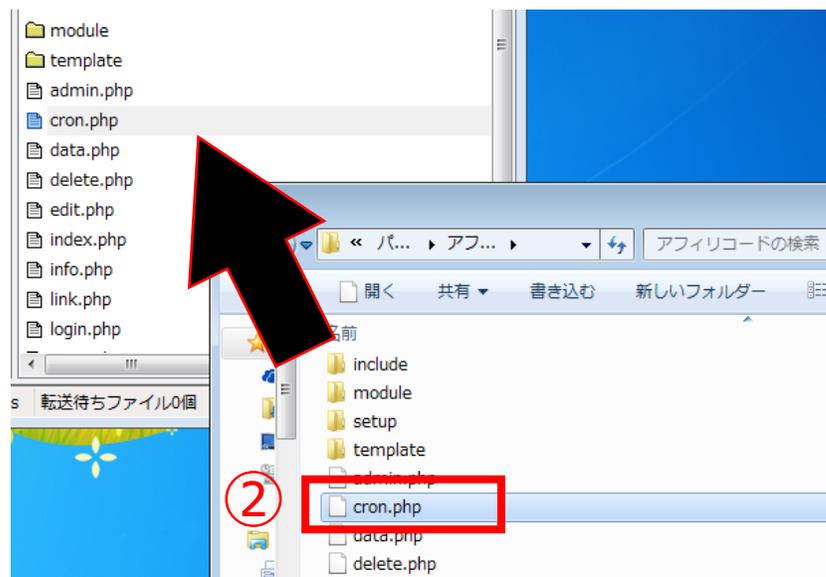
※ レンタルサーバーによっては、絶対パスが表示されていない場合があります。
絶対パスは各レンタルサーバーにてご確認ください。

【STEP 9】 実行パスワード設定

①



```
1 k?php↓
2 ↓
3     set_time_limit(0);↓
4 ↓
5     $NONE_SESSION = true;↓
6 ↓
7     $CRON_PATH = ""
8     $CRON_PASS = ""
9 ↓
10    chdir($CRON_PATH);↓
```



① 8行目「**\$CRON_PASS**」の値を任意の英数字に書き換えてください。

※以降、「**実行パスワード**」とします。

② 書き換えた「cron.php」を、FTPにアップロードしてください。

【STEP 10】CRON設定 ジョブの追加

サーバーコマンド「**crontab**」にて下記のジョブを追加します。

① * * * * * php /システム設置パス/cron.php 実行パスワード send
半角スペース

② * * * * * php /システム設置パス/cron.php 実行パスワード daemon

【「*****」について】

「*****」は左から「分」「時」「日」「月」「曜日」で、指定した時間にプログラムを実行します。

※「曜日」の表記は、「0=日、1=月、2=火、3=水、4=木、5=金、6=土、7=日」となります。

【設定可能な数値と指定方法】

設定可能な数値	数値
分	0-59
時	0-23
日	1-31
月	1-12
曜日	0-7

指定方法	設定例	説明
リスト	0,10,20,30	分フィールドで指定した場合は0,10,20,30分に実行します。
範囲	1-5	月フィールドで指定した場合、1,2,3,4,5月に処理を実行します。
共存	1,6,9-11	時間フィールドで指定した場合、1時、6時、9時、10時、11時に処理を実行します。
間隔	*/10	分フィールドで指定した場合、10分間隔で処理を実行します。「*/」の後ろに指定した値の間隔で処理を実行します。

【STEP 10】CRON設定 ジョブの追加

【設定例】

例1) 毎時10分に実行

⇒ 「10 * * * *」

例2) 毎日AM4:05に実行

⇒ 「05 4 * * *」

例3) 10分毎に実行

⇒ 「*/10 * * * *」

例4) 3時間毎に実行

⇒ 「* 0-23/3 * * *」

例5) 毎日AM4:30とAM9:30に実行

⇒ 「30 4,9 * * *」

例6) 毎月10日のAM3:15 4:15 5:15 6:15に実行

⇒ 「15 3-6 10 * *」

「 * * * * * 」は「**毎分実行**」という設定になります。

以上で、「CRON設定」は完了となります。

レンタルサーバーによっては、サーバーコマンドでなく、

サーバーコントロールパネル上で設定できるものもあります。

各レンタルサーバーでの設定は[こちら](#)をご参照ください。